

2024年10月期末 決算補足説明資料

株式会社CAICA DIGITAL(2315)

2024年12月20日

01	概要	03
02	2024年10月期 通期決算	09
03	2024年10月期 第4四半期決算	21
04	2025年10月期 通期業績見通し	30
05	中期経営計画の進捗状況	34
06	トピックス	43
07	Appendix	62

01

概要

03

02

2024年10月期 通期決算

9

03

2024年10月期 第4四半期決算

21

04

2025年10月期 通期業績見通し

30

05

中期経営計画の進捗状況

34

06

トピックス

43

07

Appendix

62

会社概要 (2024年10月31日現在)

商号	株式会社CAICA DIGITAL
事業内容	グループ会社の管理運営
設立	1989年7月14日
所在地	東京都港区南青山五丁目11番9号
代表	代表取締役社長 鈴木 伸 代表取締役副社長 山口 健治
資本金	50百万円
連結売上高	5,606百万円
決算期	10月
上場市場	東京証券取引所スタンダード

主要子会社	
商号	株式会社CAICAテクノロジーズ
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> システムインテグレーション事業 ITサービス事業 Web3関連開発事業
設立	2019年10月7日
代表	代表取締役社長 鈴木 伸 代表取締役副社長 鈴木 偉真
資本金	301百万円
商号	株式会社カイカフィナンシャルホールディングス
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> Zaif INO運営事業 Web3コンサルティング事業 カスタマーディベロップメント事業
設立	2021年11月1日
代表	代表取締役社長 鈴木 伸
資本金	50百万円

※ カイカ証券は金融商品取引業の廃止に伴い、2023年12月1日付で商号を株式会社EWJ（英語表記：EWJ Inc.）に変更し、現在残務整理を行なっております。なお、本スライドでは呼称をカイカ証券と統一致します。

当社のセグメント

当社は、安定的な収益を生む「ITサービス事業」、拡大するマーケットの中で収益獲得を見込む「金融サービス事業」から構成されます。ITサービス事業においては上流工程の獲得や、価格改定により、より強固な収益体制を目指します。金融サービス事業においては2023年10月期末の再編に伴い慢性的な赤字体質を改善し、グループへの貢献を図ってまいります。

ITサービス事業

ITサービス事業

ブロックチェーン等の最先端技術や豊富な開発実績を活かした自社開発のITサービスを販売しております。企業のデジタル・トランスフォーメーション（DX）化を実現します。

システムインテグレーション事業

金融、ポイント・決済、公共・官公庁、EC・通販をはじめとした業界領域で培ったノウハウを基に、システムの企画検討から、設計・構築、運用・保守に至るまで、フロント、バックオフィスから基幹系システムを問わず最適なシステム提供をいたします。

DXソリューションサービス事業

AIを活用したDXソリューションの開発を手掛けるベンダーと提携し、DXソリューションの販売を行います。

金融サービス事業

Zaif INO運営事業

審査制のNFTローンチパッドZaif INOを運営します。暗号資産決済のほか、クレジットカード決済に対応しクオリティの高いNFTを提供します。

カスタマーディベロップメント事業

暗号資産や金融業界をはじめとした様々な業界に適応可能な顧客対応事業です。ご相談いただいた業務内容に合わせて、高水準のカスタマーサポートチームを提供するほか、カスタマーとの友好的な関係構築を支援いたします。

暗号資産発行・運用事業

自社発行暗号資産カイカコインの運用を行います。ユーティリティの拡大に伴う暗号資産価格の上昇により当社の保有する資産価値の向上を図るとともに収益の最大化を図ります。



事業構造の抜本的な見直し

CAICA DIGITALは「デジタル金融の未来を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、暗号資産交換所Zaifやカイカ証券をはじめ、様々な形態の金融サービス業を行ってまいりました。

しかし市場環境の変化など多くの要因により当初期待した収益を得られなかった結果、2023年10月期を以て事業譲渡や廃業により一部金融サービスの運営から退くことと致しました。

2024年10月期以降は従来より堅調であったITサービス事業を軸に赤字体質からの脱却、売上の拡大を目指し、業績の改善を図ってまいります。

また現在までに培ったノウハウを武器に引続き「デジタル金融の未来を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、Zaif INOの運営やカイカコイン等のWeb3分野におけるサービスといった事業も継続してまいります。

2024年10月期を振り返って

2024年10月期のITサービス事業については、マーケットの需要は引続き旺盛であり、好調な滑り出しでした。そのようななか当社は、案件の選択と集中、受注条件の向上に努めた結果、売上高は期初の想定を下回ったものの、利益の確保、利益率の大幅な向上を達成いたしました。

金融サービス事業については、再編により暗号資産交換所を手放したものの、来たるWeb3時代に向けた先行投資として引続きNFTローンチパッドのZaif INO、および自社発行暗号資産カイカコインの運営を行ってまいりました。いずれも期初時点で2024年10月期における業績への寄与度は低いと測っておりましたが、保有している一部暗号資産の評価額が期初の想定を超えて下がったことで、損益計算書上では想定以上の赤字を計上する形となりました。この

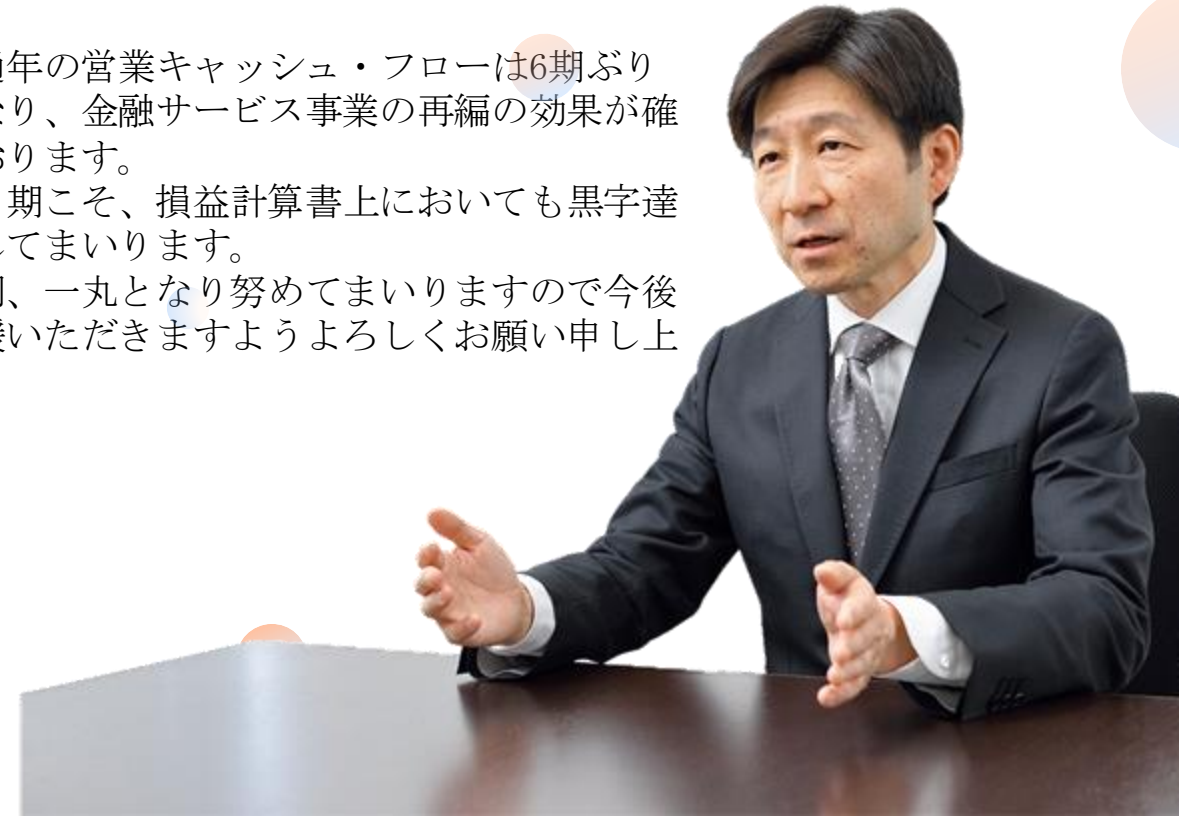
CEO代表取締役社長 鈴木伸

結果、期初に見込んだ黒字着地は叶わず、多くのステークホルダーの皆様にご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

一方で、通年の営業キャッシュ・フローは6期ぶりの黒字となり、金融サービス事業の再編の効果が確実に出ています。

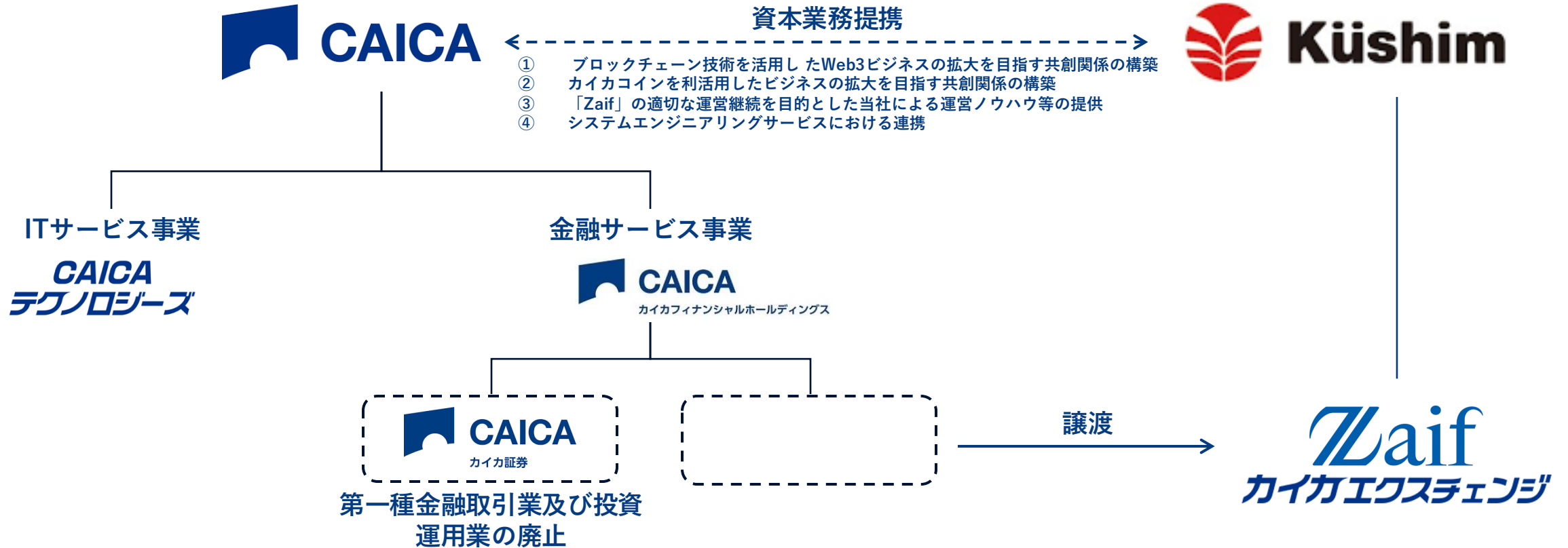
2025年10月期こそ、損益計算書上においても黒字達成を目指してまいります。

役職員一同、一丸となり努めてまいりますので今後ともご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。



金融子会社の再編と新たな資本業務提携

金融サービス事業の損失の主要因となっていた暗号資産交換所Zaifの運営を行う株式会社カイカエクスチェンジ※¹を株式会社クシム(2345)に対して2023年10月31日(2023年10月期末)付で譲渡しました。また株式会社EWJ※²につきましても現在、第一種金融取引業及び投資運用業の廃止を致しました。一方、株式会社クシムより出資を受けることにより資本業務提携を締結しました。



1. 旧カイカエクスチェンジホールディングス、旧カイカキャピタルも含まれます。
 2. 関係会社EWARRANT INTERNATIONAL LTD. (清算手続中)、EWARRANT FUND LTD.の事業縮小も含まれます。

01	概要	03
02	2024年10月期 通期決算	9
03	2024年10月期 第4四半期決算	21
04	2025年10月期 通期業績見通し	30
05	中期経営計画の進捗状況	34
06	トピックス	43
07	Appendix	62

2024年10月期 通期連結業績ハイライト

売上高

連結売上高**5,606**百万円

通期見通し 5,656百万円

営業利益

連結営業利益**▲159**百万円

通期見通し ▲164百万円

経常利益

連結経常利益**▲263**百万円

通期見通し ▲292百万円

純利益

連結純利益**▲359**百万円

通期見通し ▲397百万円

通期業績サマリー

2024年10月期は第3四半期に業績見通しの下方修正を行いました。第4四半期についても保有暗号資産スケブコインの評価切り下げをおこなったものの、販管費の削減に努めた結果、**各利益は修正後見通しを超えて着地**する形となりました。

	23/10月期 累計実績	24/10月期 累計実績	前期比		通期 業績見通し	達成率
売上高	5,679	5,606	▲72	▲1.28%	5,656	99.13%
売上総利益	520	609	+89	+17.11%	-	-
売上総利益率	9.62%	10.0%	-	-	-	-
営業利益	▲2,378	▲159	+2,218	-	▲164	-
営業利益率	-	-	-	-	-	-
経常利益	▲2,560	▲263	+2,297	-	▲292	-
親会社株主に 帰属する 当期純利益	▲3,889	▲359	+3,529	-	▲397	-

※ 以降の頁における通期業績見通しの数字は修正後の数字を記載します。

2024年10月期 通期業績の総括



24/10月期の総括

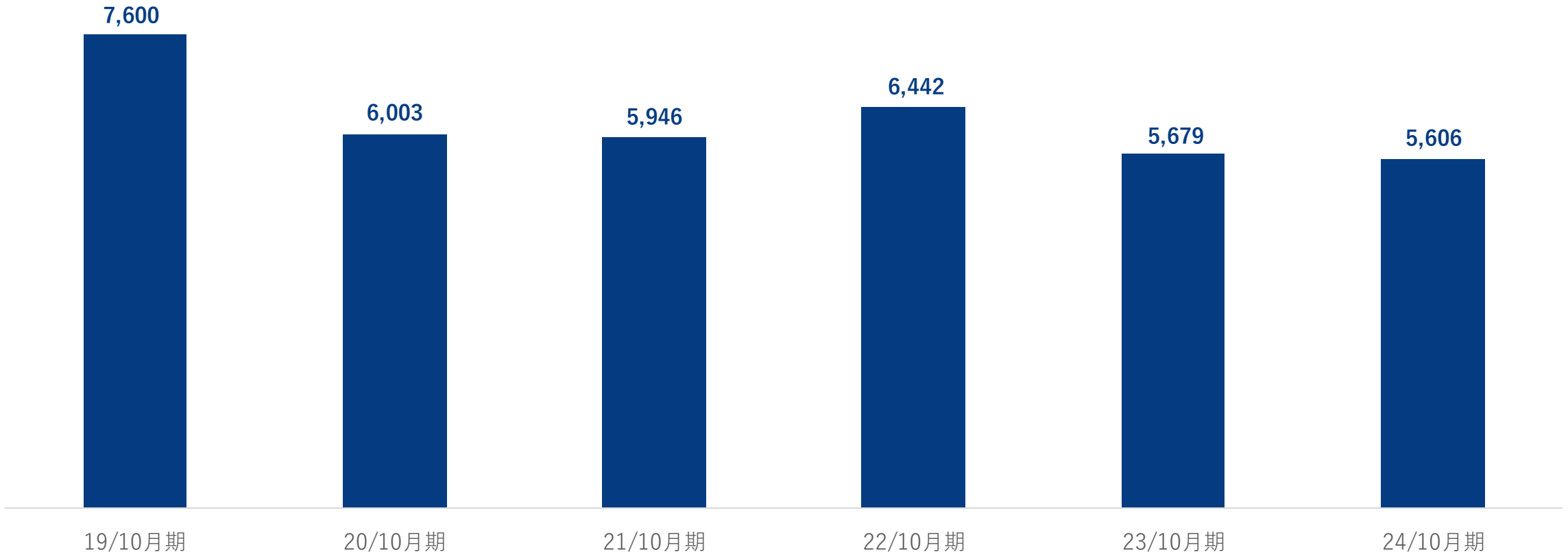
- 金融サービス事業の抜本的な組織再編により前期より各利益を大幅に改善
- 想定外の暗号資産評価損により期初の見通しに対しては未達
- 営業キャッシュ・フローは282百万円の黒字を達成**

- 利益率向上を目的として高単価案件の選別を積極的に行った結果、売上高は未達
- 各利益、利益率ともに高単価案件を選別して受注した結果、期初の想定を超えて着地

- 子会社再編に伴い、販管費が大幅に圧縮された結果、各利益が大幅に改善
- 期初に想定していなかった暗号資産評価損を要因として期初見通しと比較して各利益にマイナスを計上

通期売上高※1の推移

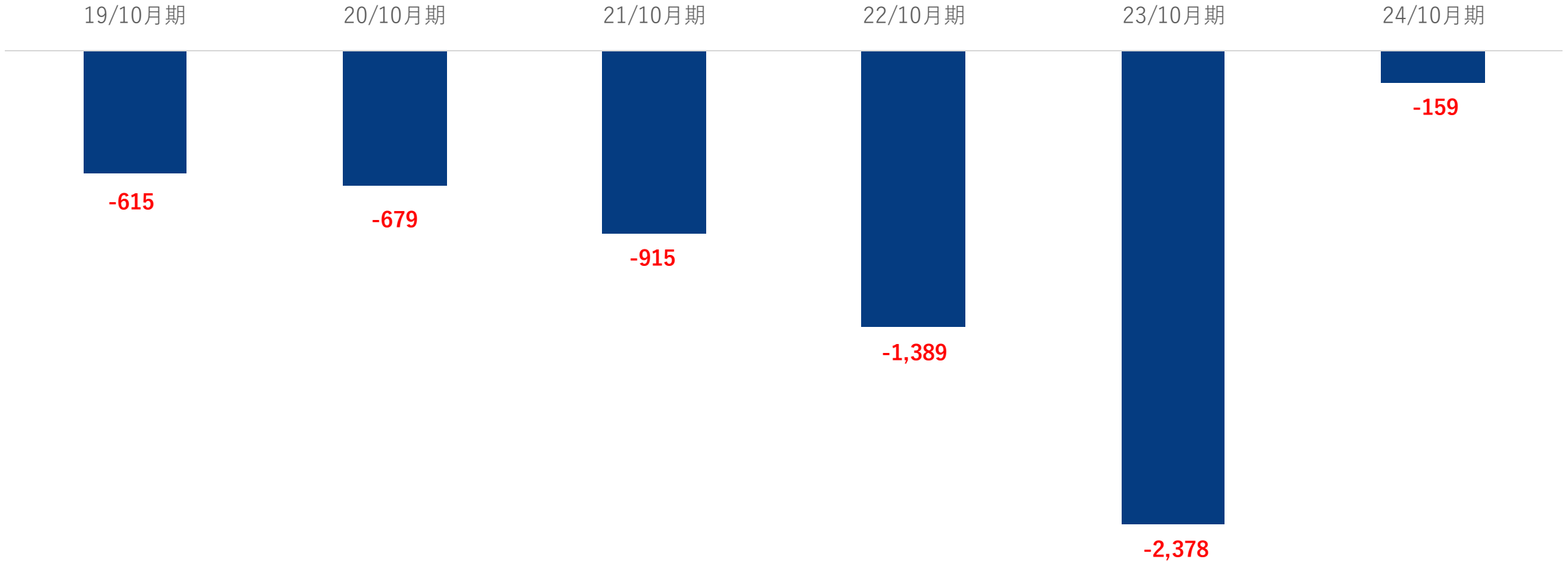
再編に伴う子会社の売却などの影響により直近数年売上高は横ばいの傾向にあります。一方、今後ITサービス事業において高単価案件の選別を行い売上高の向上を図るとともに中期経営計画に示した通り、今後M&Aや新規案件創出に伴い売上高を拡大させる見通しです。



1. 23/10月期以降の数字を遡及処理

通期営業利益の推移

直近数年は金融サービス事業への先行投資を主因として大きく赤字を計上しておりました。一方今期は組織再編を行なったことにより、赤字幅を大きく縮小しました。また一部の暗号資産の評価切り下げに伴う資産の縮小により各利益は最終赤字となったものの、**営業キャッシュ・フローはITサービス事業が牽引する形で282百万円の黒字**であったことから、今後の黒字体質が確立されたと見込んでおります。



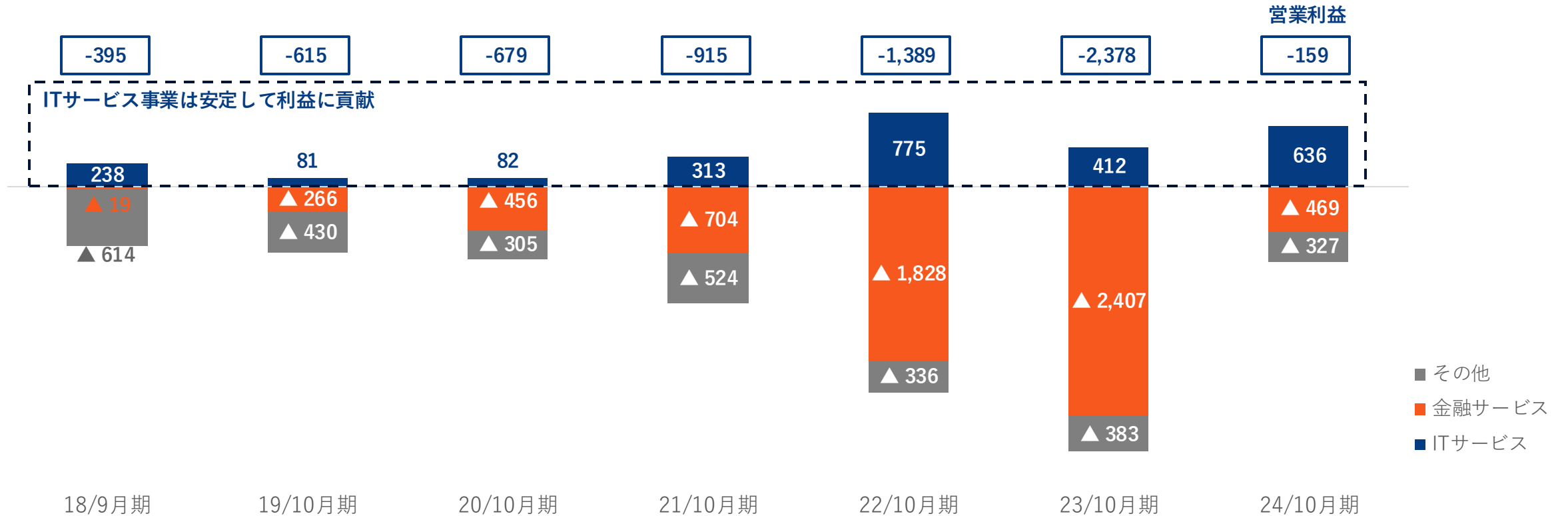
1. 親会社株主に帰属する当期純損失を記載

セグメントごとの通期損益の推移

2023年10月期までに事業再編を行い、2024年10月期は収支を大きく改善しました。2024年10月期はITサービス事業が連結営業利益を牽引した一方、一部の暗号資産の評価減に伴う損失が金融サービス事業に計上された結果、営業利益がマイナス着地となりました。

(百万円)

過去行なっていた事業、及び持株会社運営費用をその他として集計



■ その他
■ 金融サービス
■ ITサービス

保有暗号資産の表示変更・暗号資産評価額の切下げについて

従来まで暗号資産の評価損益⁽¹⁾は、売上高に計上されておりました。一方、第2四半期より、カイカコインなどの活発な市場が存在しない暗号資産は一部を除いて評価額を備忘価格とし、その評価損は売上原価として計上しました。

表示方法の変更について

	第1四半期まで
売上高	暗号資産の評価損は売上高以下に影響
	第2四半期以降
売上原価	暗号資産評価損を売上原価に計上
売上総利益	暗号資産の評価損は売上総利益以下に影響
営業利益	
経常利益	
当期純利益	

暗号資産評価額の切下げについて

暗号資産評価の切下げの大半は第2四半期までに行っており、下記の処理は第2四半期時点で実行済みです。

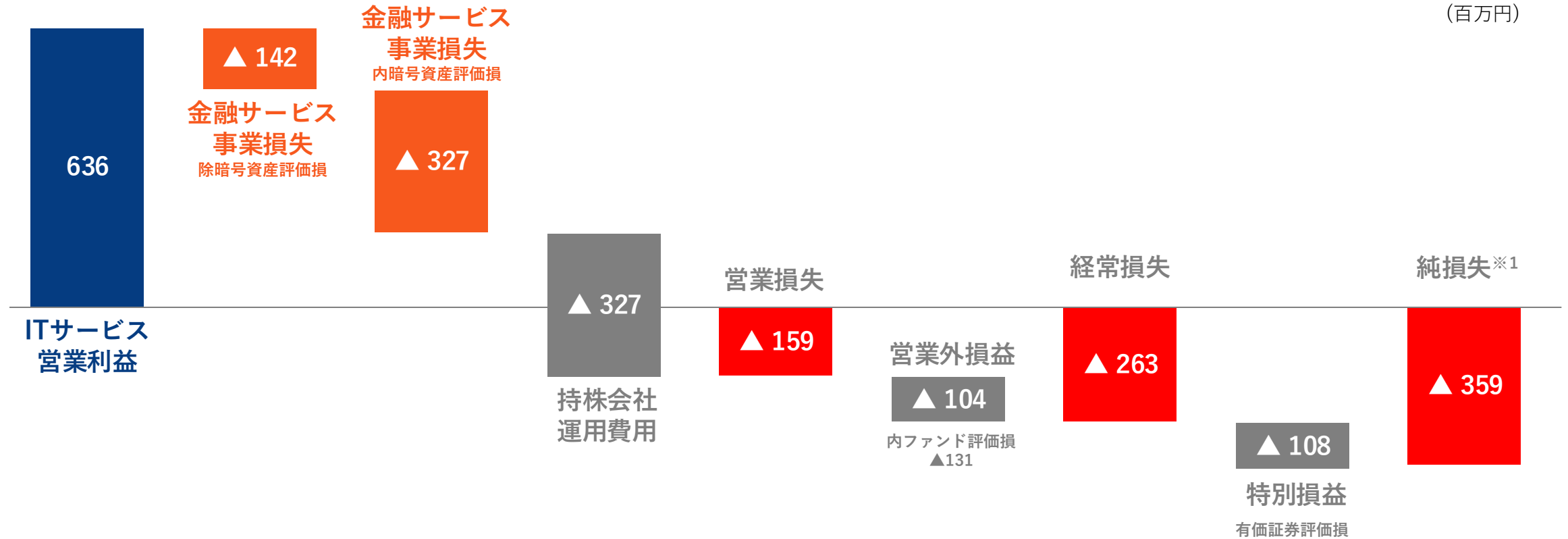
暗号資産評価額切下げ前(期初)	
資産の部	約2,971百万円
うち活発な市場のない暗号資産	約327百万円
▼	
暗号資産評価額切下げ後(期末)	
資産の部	2,425百万円
うち活発な市場のない暗号資産	0百万円

暗号資産327百万円分の評価を切下げ差額を売上原価に計上

1. 従来、暗号資産の評価損は売上高にマイナス計上。一方、カイカコインをはじめとした活発な市場が存在しない暗号資産の評価益は損益計算書には反映せず

2024年10月期の各利益の要因について

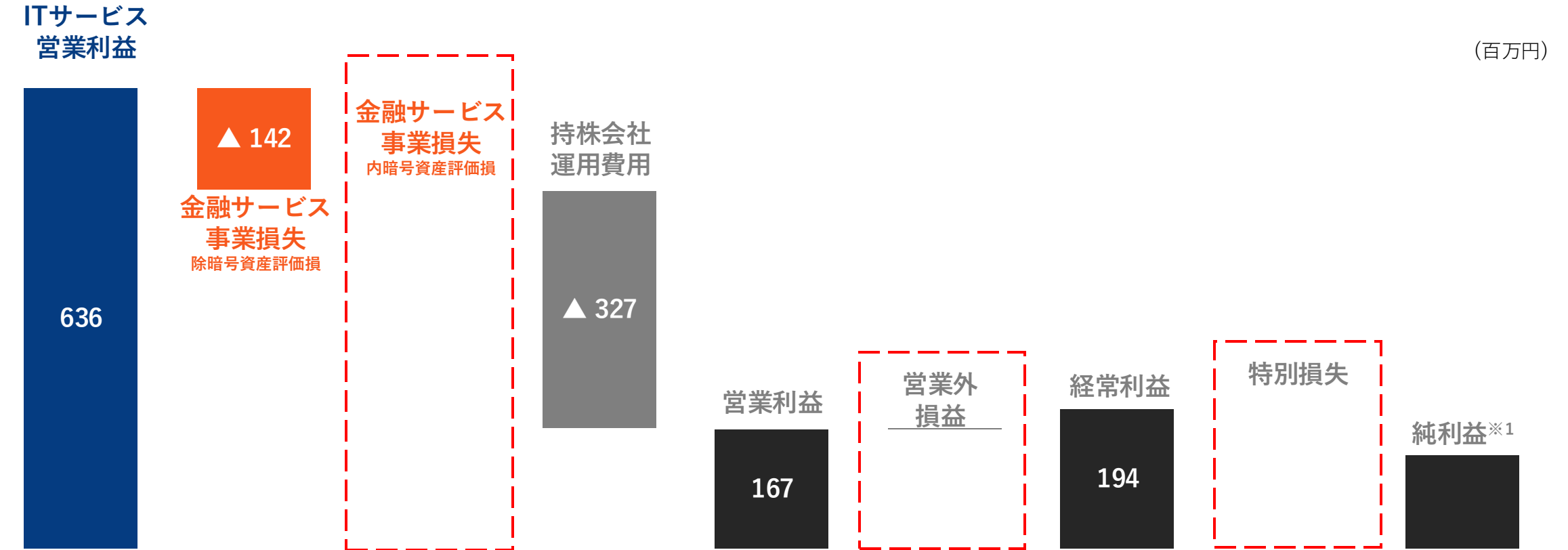
2024年10月期は、ITサービス事業の利益が636百万円となり、前期412百万円と比較して大きく伸長しました。金融サービス事業は先行投資に伴う事業損失のほか、暗号資産関連の評価損327百万を計上した結果、営業損失となりました。



1. 親会社株主に帰属する当期純損失を記載

2024年10月期において各種評価損がなかった場合

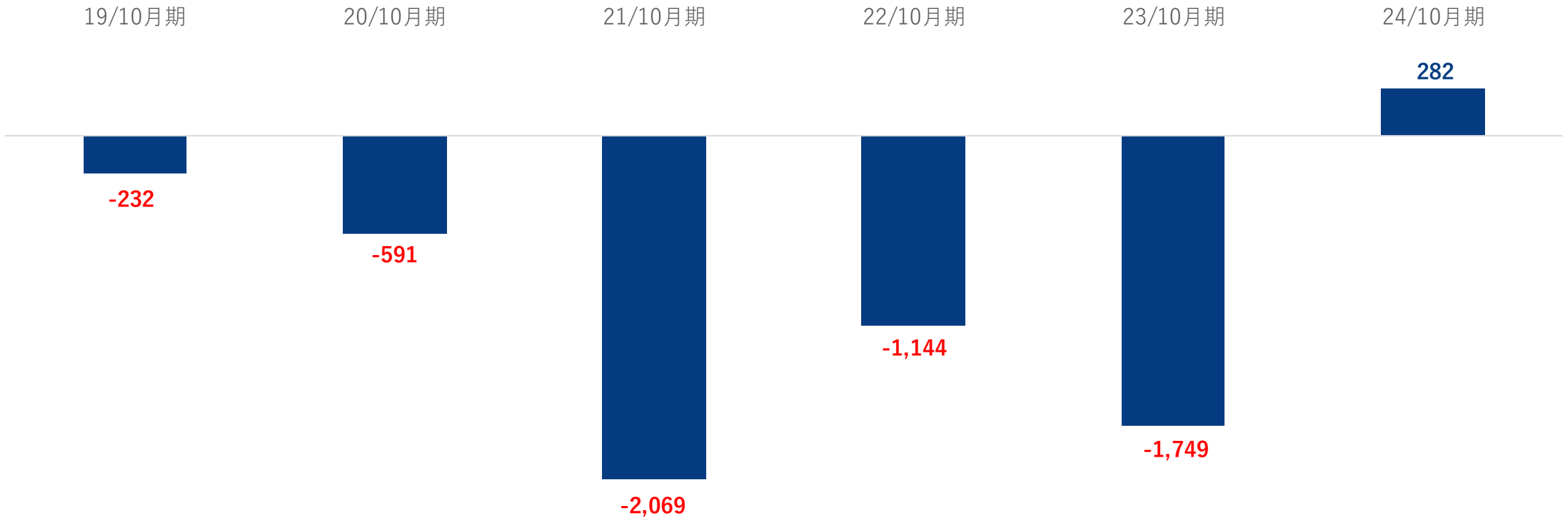
2024年10月期において、暗号資産評価損及び、ファンドの損失等の営業外損益、有価証券評価損等の特別損失が計上されなかった場合の損益計算書の概算シミュレーションは下記のとおりです。本前提のもとでは今期は各四半期とも黒字見込みとなります。現在時点で2025年10月期は暗号資産評価損を見込んでおらず、各利益とも黒字の着地となることを見込んでおります。



1. 法人税などの影響をふまえ数値は記載しておりません。

営業キャッシュ・フローの推移

2024年10月期は営業キャッシュ・フローの黒字を達成しました。今後、ITサービス事業を主軸としてさらに営業キャッシュ・フローの拡大に努めてまいります。



貸借対照表の推移について

暗号資産の評価方法見直しに伴う327百万円の損失を主因として前期末より貸借対照表は縮小いたしました。また金融サービス事業の再編に伴い、暗号資産交換所Zaifが営む事業が連結から除外されたことを主因として23年10月期第3四半期より大きく縮小しました。なお、**自己資本比率は68.4%と引続き高水準**を保っております。

(百万円)	23/3Q	23/4Q	24/4Q		23/3Q	23/4Q	24/4Q
資産の部	65,334	2,971	2,425	負債の部	61,468	773	765
内 現預金	1,589	1,049	698	内 預り暗号資産	53,482	-	-
内 利用者暗号資産	53,482	-	-				
				純資産の部	3,866	2,198	1,659
				内 株主資本	3,805	2,169	1,807

01	概要	03
02	2024年10月期 通期決算	9
03	2024年10月期 第4四半期決算	21
04	2025年10月期 通期業績見通し	30
05	中期経営計画の進捗状況	34
06	トピックス	43
07	Appendix	62

2024年10月期第4四半期 連結業績サマリー

第4四半期は第3四半期に引続き、利益面でITサービス事業が牽引した結果、保有暗号資産スケブコインの評価額を備忘価格の1円まで切り下げたことに伴う損失38百万円を含めてなお、各利益ともプラスの着地となりました。

	23/4Q 四半期実績	24/4Q 四半期実績	前期比	
売上高	1,488	1,381	▲107	▲7.24%
売上総利益	209	186	▲23	▲11.21%
売上総利益率	17.23%			-
営業利益	▲441	15	+456	-
営業利益率	-			-
経常利益	▲469	37	+507	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	▲1,985	42	+2,027	-

2024年10月期 第4四半期連結業績総括

連結業績

- 第3四半期に引続き、第4四半期会計期間も各利益とも黒字を達成

ITサービス事業

- 高単価案件の選別を引き続き行った結果、高い利益率を実現

金融サービス事業

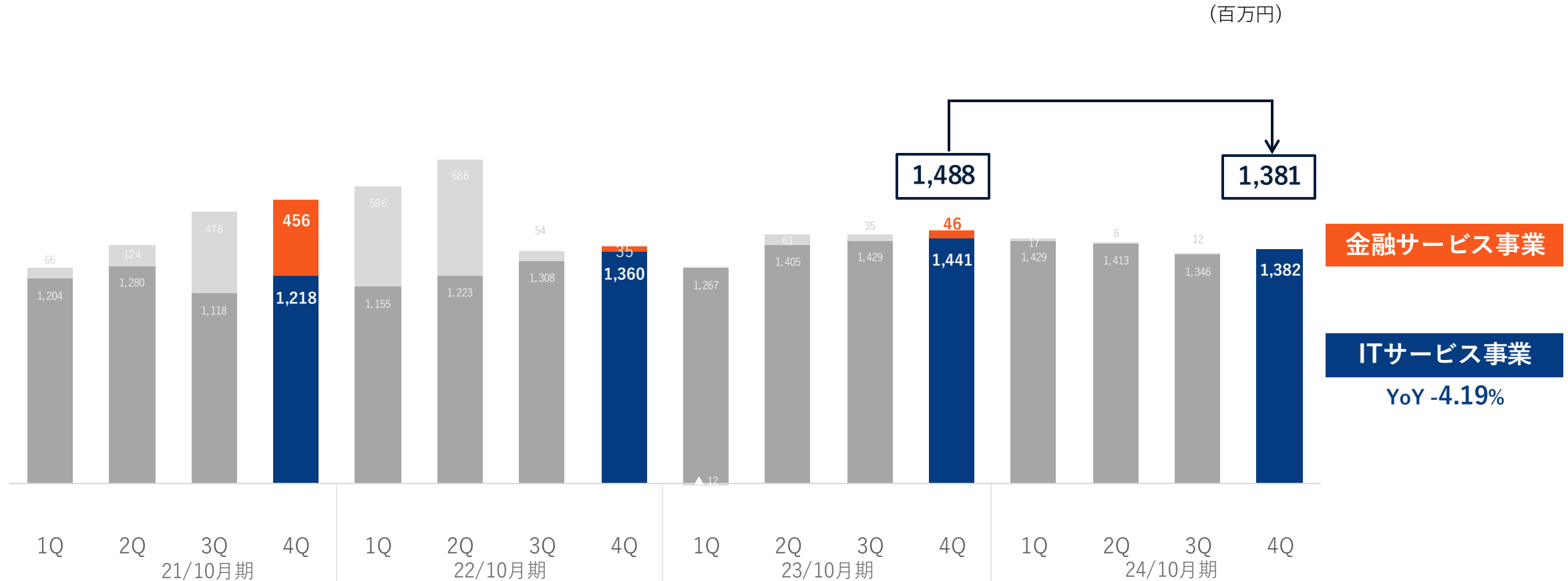
- 保有暗号資産の評価損及び事業への先行投資のため損失を計上

保有する暗号資産スケブコインを備忘価格1円まで切り下げたことに伴い▲38百万円を売上総利益以下に計上。

四半期毎の連結売上高推移※1

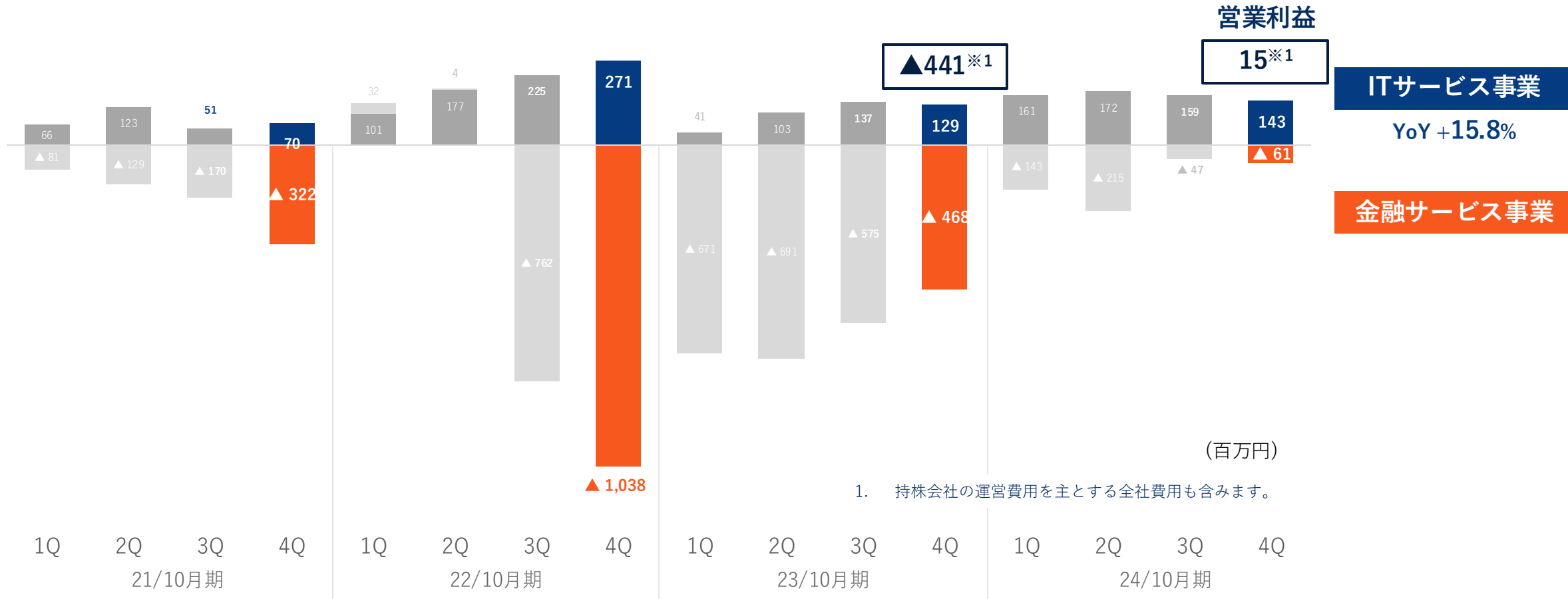
ITサービス事業は高単価案件獲得のために案件精査を行なった結果、売上高は減少しました。金融サービス事業は新規事業の創出フェーズにあり、売上高は僅かとなりました。

1. 内部取引控除後、金融サービス事業における暗号資産評価変更後の数字を記載



四半期毎のセグメント損益の推移

暗号資産の評価切り下げの影響があったものの、ITサービス事業の利益が好調に推移した結果、第3四半期に引続き連結で営業利益は黒字を達成しました。



四半期営業利益の増減要因について

ITサービス事業は高単価案件の選別の結果、売上高が減少した一方で営業利益は13百万円増となりました。金融サービス事業は第3四半期に引続き暗号資産評価額の切り下げが軽微であったことと併せて、不採算事業撤退の影響により前期比406百万円増となりました。以上より、連結営業利益は前期比456百万円増となりました。

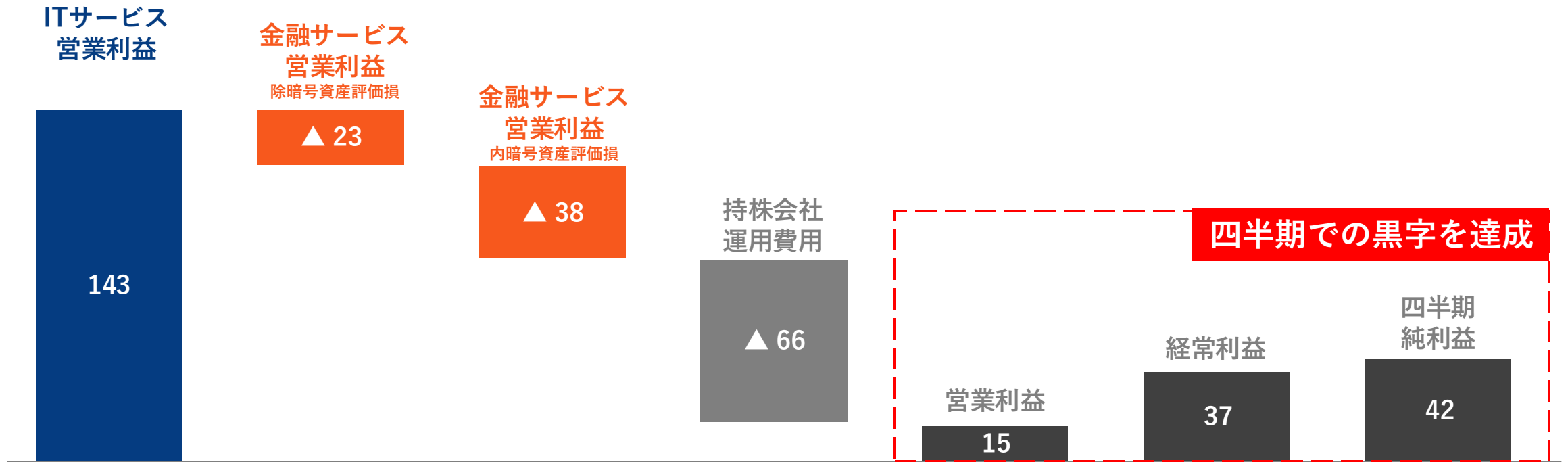


四半期⁽¹⁾における各利益の要因について

第4四半期も引続き暗号資産評価損が業績へ一定の影響を与えましたが、ITサービス事業が着実に利益を確保したことを要因として、第3四半期に引続き**各利益ともプラス**の着地となりました。

1. 2024年10月期第3四半期会計期間(5月1日~7月31日)の状況を記載

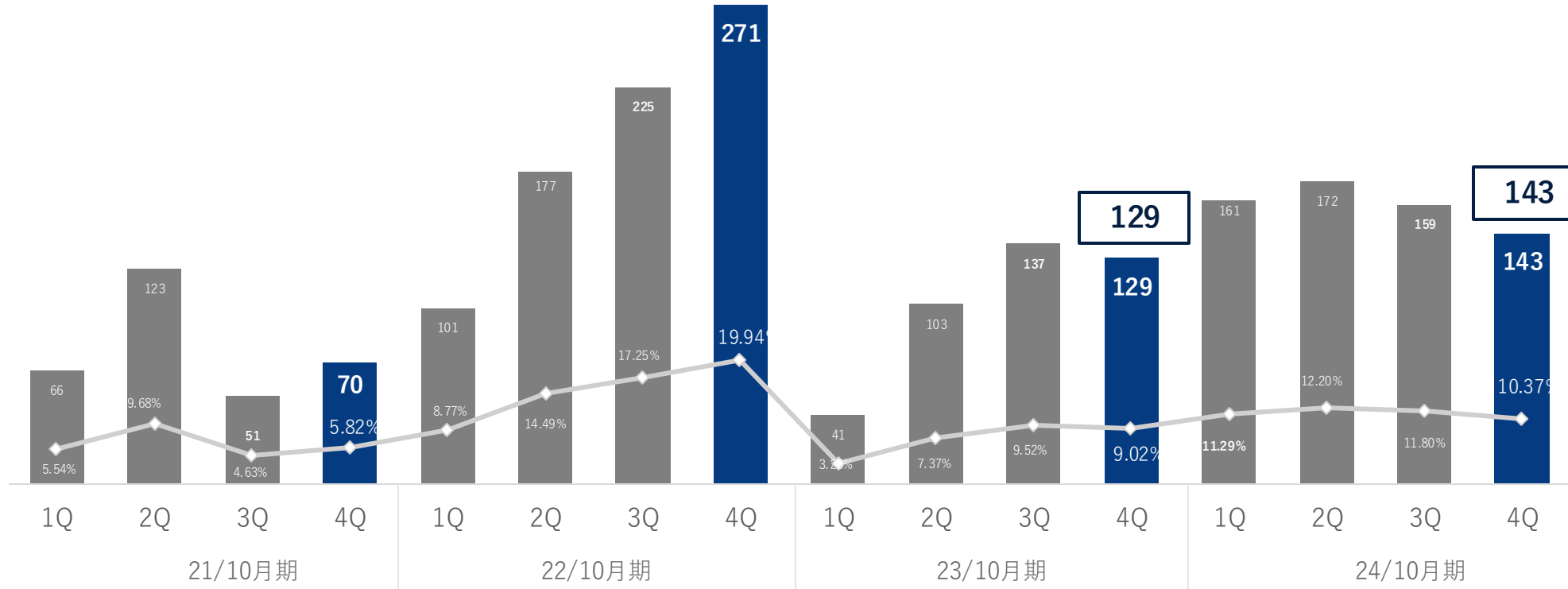
(百万円)



四半期毎のITサービス事業の営業利益率推移

引続き高収益案件の獲得に努めた結果、引続き高い利益率を維持しており前期比13百万円増、利益率2.28%向上となりました。

(百万円)

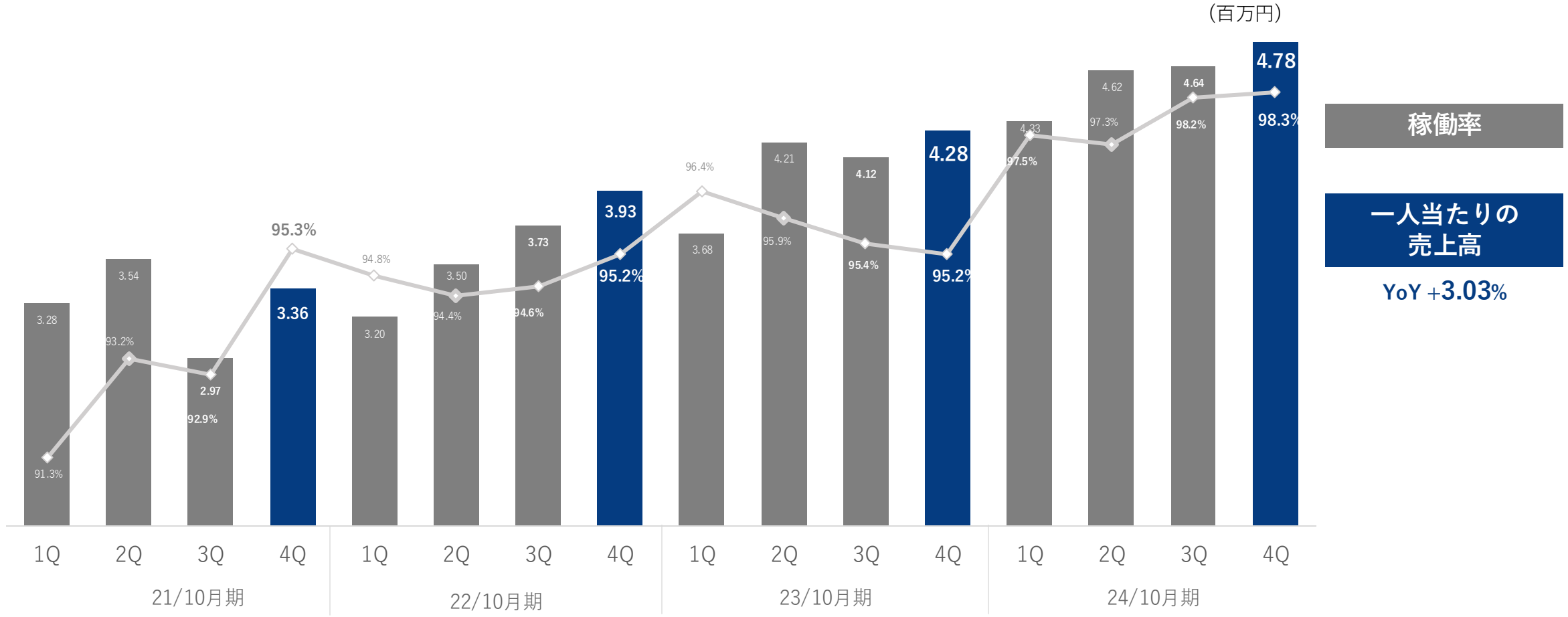


ITサービス事業
YoY +10.79%

• 本資料は情報の提供を目的としており、将来の投資成果を保証するものでもありません。また本資料に掲載した内容は2024年10月期末現在のものであり、今後変更される恐れのあることをご承知ください。
 • 本資料はCAICA DIGITAL(2315)が決算情報の提供を目的として作成しております。無断での転載はお控えください。

四半期毎のITサービス事業KPIの推移

引き続き、ITサービス事業の一人当たりの売上高、稼働率ともに順調に伸長しました。新規事業であるDXソリューション事業の拡大に伴い、案件単価の向上を図ることでさらに一人当たりの売上高をさらに拡大させたいと考えております。



本資料は情報の提供を目的としており、将来の投資成果を保証するものでもありません。また本資料に掲載した内容は2024年10月期末現在のものであり、今後変更される恐れのあることをご承知ください。
 本資料はCAICA DIGITAL(2315)が決算情報の提供を目的として作成しております。無断での転載はお控えください。

01	概要	03
02	2024年10月期 通期決算	09
03	2024年10月期 第4四半期決算	21
04	2025年10月期 通期業績見通し	30
05	中期経営計画の進捗状況	34
06	トピックス	43
07	Appendix	62

2025年10月期 通期業績見通しハイライト

売上高

連結売上高**6,220**百万円

前期実績 5,606百万円

営業利益

連結営業利益**215**百万円

前期実績 ▲159百万円

経常利益

連結経常利益**215**百万円

前期実績 ▲263百万円

純利益

連結純利益**196**百万円

前期実績 ▲359百万円

2025年10月期 通期業績見通しサマリー

2025年10月期初時点では少額のビットコイン等の暗号資産を貸借対照表に計上しておりますが、その他の一部の暗号資産は2024年10月期末までに全て減損処理を行なったため、暗号資産の損益が業績に与える影響は軽微だと見込んでおります。よってITサービス事業の堅調な推移及び伸長により最終黒字を達成できる見込みでおります。

	24/10月期 実績	25/10月期 業績見通し	前期比	
売上高	5,606	6,220	+615	+10.97%
営業利益	▲159	215	+374	-
営業利益率	-	3.45%	-	-
経常利益	▲263	215	+478	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	▲359	196	+555	-

2025年10月期 業績見通し

連結業績

ITサービス事業

金融サービス事業

25/10期の見通し

- 堅調なITサービス事業を軸に**黒字化を見込む**
- 暗号資産市場やユースケースの拡大に伴い、Web3.0 For Bizをはじめとしたソリューション事業の伸長を図る
- 売上高は前期比11%増を見込む
- 既存事業において約1.2億円の増収を図る
- 高単価案件の選別を継続し、更なる利益率の向上に努める
- 新規事業DXソリューションサービスの立ちあがりに伴い4.8億円の売上高創出を図る
- 2024年10月期中に保有する一部の暗号資産の大半を備忘価格に設定済み
- 保有する一部の暗号資産の売却額は大部分が利益に計上される見通し
- Zaif INOの取扱高拡大を図る

01	概要	03
02	2024年10月期 通期決算	09
03	2024年10月期 第4四半期決算	21
04	2025年10月期 通期業績見通し	30
05	中期経営計画の進捗状況	34
06	トピックス	43
07	Appendix	62

中期経営計画ハイライト

2026年10月期
 連結売上高**7,813**百万円

CAGR13%
 FY2023年実績比+44.6% ※1

2026年10月期
 連結営業利益**467**百万円

営業利益率6.0%

2026年10月期
 ITサービス事業人員**725**人 ※2

一人当たりの売上+8.5%
 FY2023年比+8.5%

販売管理費約**2,200**百万円減 ※3

1. 2023年10月16日に公表したものであり、2024年第2四半期に変更した活発な市場が存在しない暗号資産の評価損の表示方法の変更による影響は反映しておりません。
2. パートナー人員数を含みます。
3. 2023年10月期の通期実績をもとに算出しております。現在カイカエクスチェンジホールディングス、カイカエクスチェンジ、カイカキャピタルの譲渡、及びカイカ証券の第一種金融取引業廃止に伴う会計処理を行っており、増減する可能性があります。

中期経営計画サマリー

CAICA DIGITALは2023年10月期に事業再編を行い、長期的な成長を見据えて収益体制を再構築してまいります。その一環として3ヵ年業績計画を中期経営計画として開示致します。

「デジタル金融の未来を切り拓く」のスローガンのもと、複数の金融子会社をM&Aにより取得するが、暗号資産市場の低迷や関連規制の強化など、様々な要因により当初想定した利益が得られず

2018年10月期~2023年10月期



安定的に利益を計上していたITサービス事業の伸長を図るとともに金融サービス事業における収支の状況を抜本的に見直し、事業の集中と選択を図る

2023年10月期



ITサービス事業の伸長を図りつつ、金融サービス事業の運営経験を活かしたWeb3事業を展開

2023年10月期~2026年10月期

新体制の事業構造と資本業務提携

今後も「デジタル金融の未来を切り拓く」というコーポレートミッションのもと、Web3領域を中心に引続き金融サービス事業の展開を図ってまいります。また株式会社クシムとの資本業務提携の元、引続き暗号資産交換所Zaifとの密な協業を図ってまいります。



新しいCAICA DIGITALの体制図

CAICA DIGITALは安定したキャッシュ・フローを産むITサービス事業を基盤として、「デジタル金融の世界を切り拓く」というミッションのもと、更なるWeb3事業の拡大を図ります。またWeb3コンサル事業「CAICA Web3 for Biz」より、上流工程のSI案件を獲得することにより、ITサービス事業の収益性向上を図ります。

金融サービス事業



自社サービスの知見を活かしたコンサルティング事業

CAICA Web3 For Biz

ITサービス事業

安定したキャッシュ・フローを産むSI事業

CAICA テクノロジーズ

上流工程を獲得し収益拡大のために
スクラム体制を構築

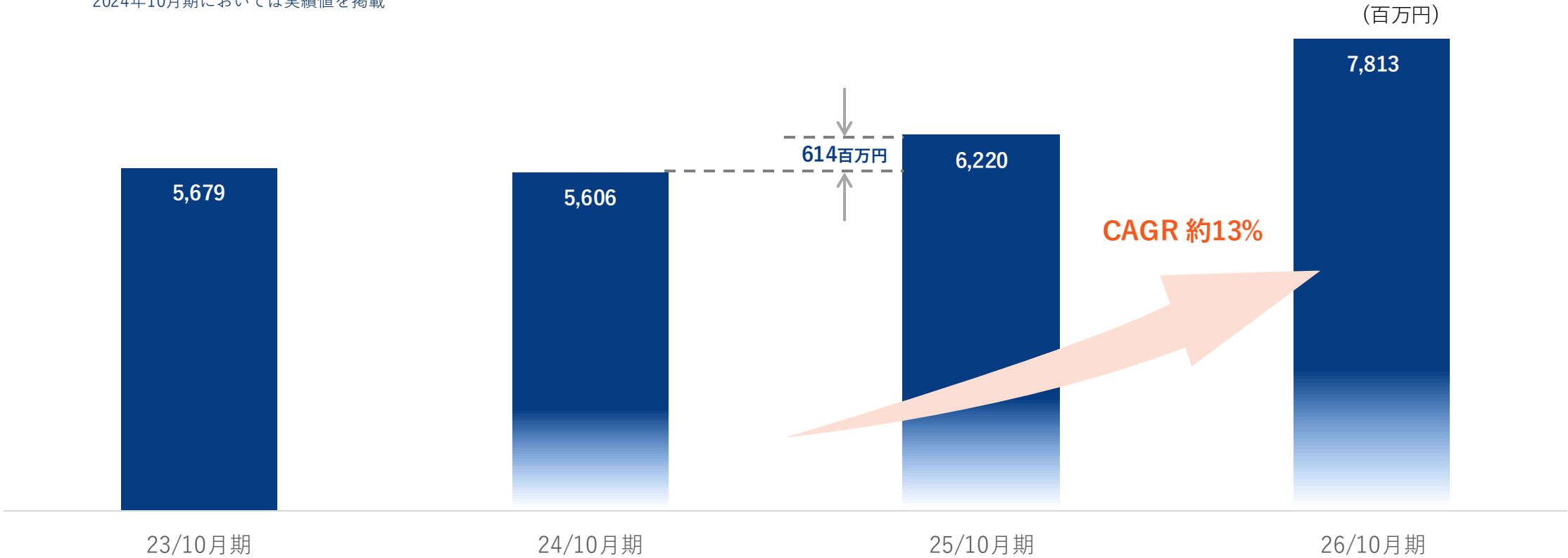
CAICA Web3 For Bizで生じたニーズをSI事業で網羅

M&A活用による更なる事業拡大

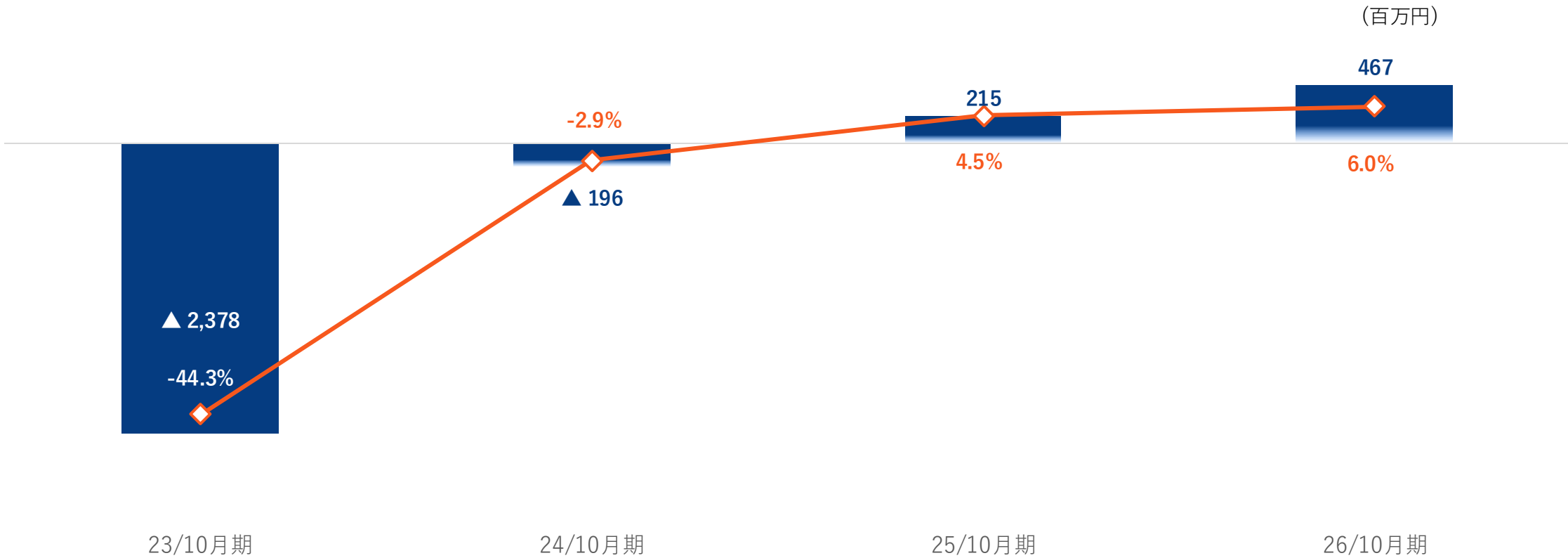
連結売上高見通し⁽¹⁾

ITサービス事業、及び新規事業の伸長により2023年10月期～2026年10月期の間に年平均約13%の成長を目指します。

- 2023年10月16日に開示した中期経営計画を参考にグラフを作成
2023年10月期は暗号資産の表示方法変更に伴い遡及処理
2024年10月期においては実績値を掲載

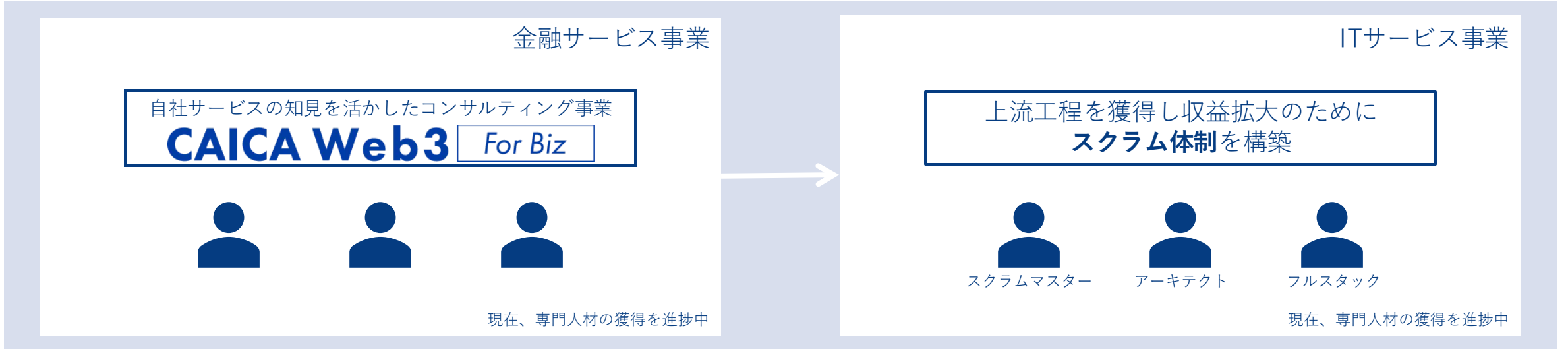


連結営業利益及び営業利益率の見通し



IT×Web3により高単価案件を獲得

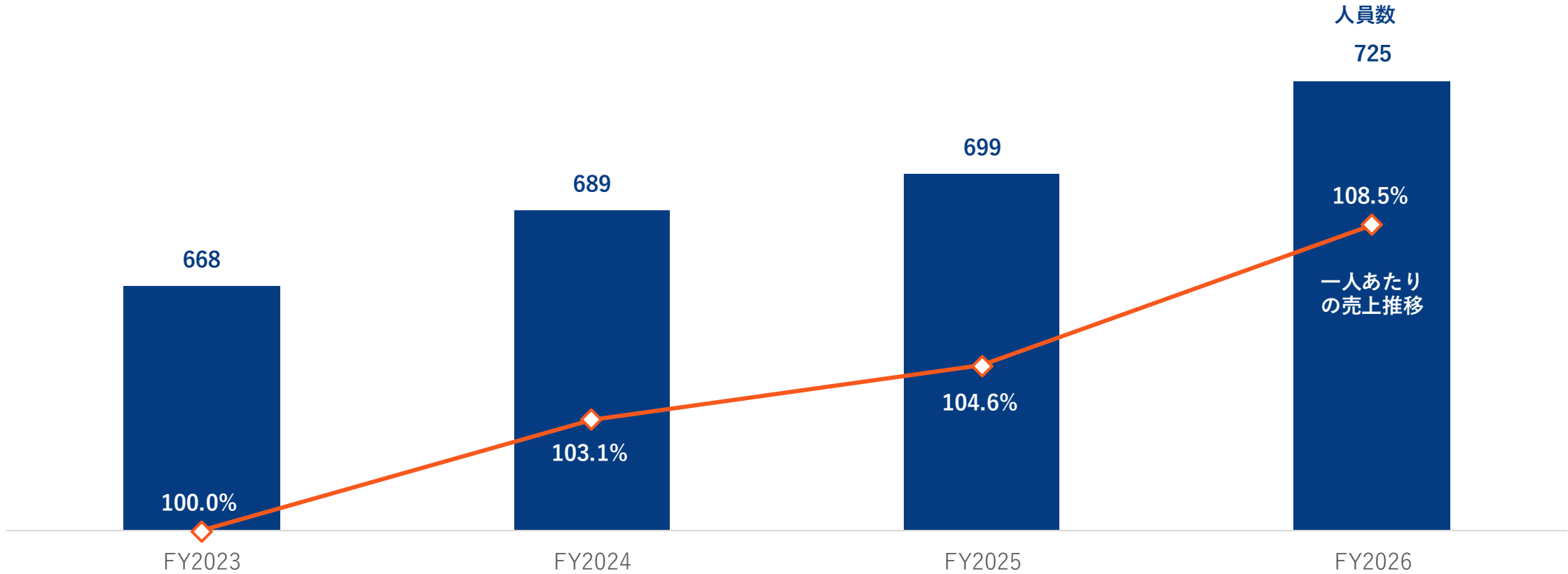
金融サービス事業で培った知見を活かし、ITサービス事業においてもWeb3領域の高単価案件の獲得を目指し利益率の改善を図り、最終年度の2026年10月期には営業利益率を6.0%まで向上させる見込みです。そのための手段として、2024年10月期よりコンサル人材、及びハイスペックなエンジニアの採用を進め、専門チームを組成します。



高単価案件を獲得し、将来的に**連結営業利益率6.0%**を目指す

ITサービス事業の人員※¹及び人員あたりの売上計画

ITサービス事業では人員の純増と併せて、一人当たりの売上増加を図りセグメント売上の伸長を図ってまいります。2026年10月期までに人員は57人純増の予定であり、一人当たりの売上は8.5%増加する想定です。



1. パートナー人員数を含みます。

01	概要	03
02	2024年10月期 通期決算	09
03	2024年10月期 第4四半期決算	21
04	2025年10月期 通期業績見通し	30
05	中期経営計画の進捗状況	34
06	トピックス	43
07	Appendix	62

「一般社団法人 Web3 人材マネジメント協会」へ加入

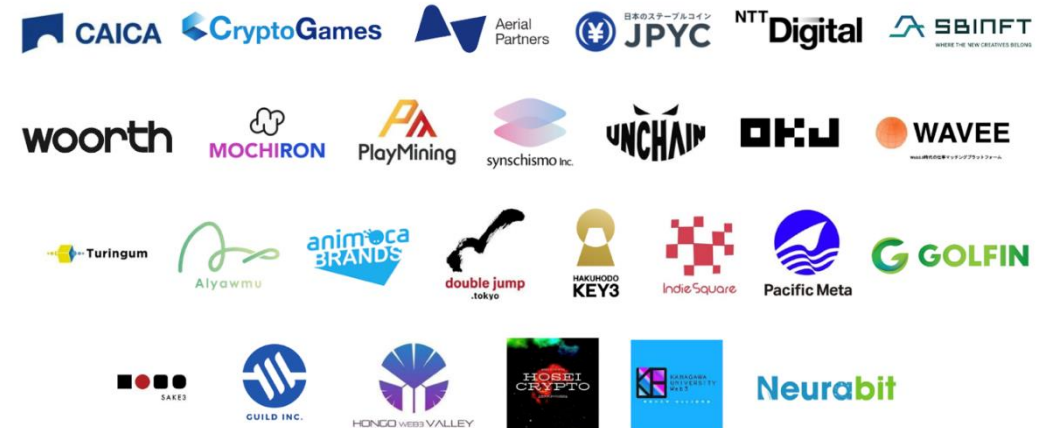
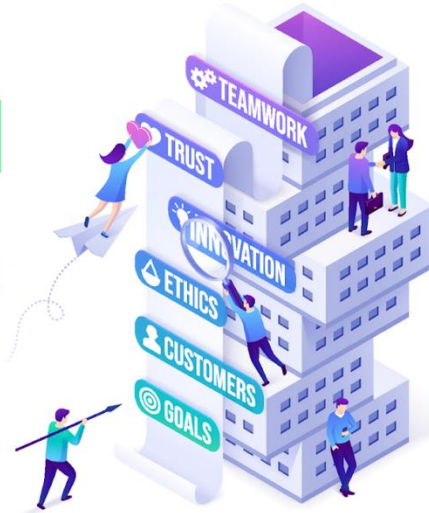
当社は「Web3業界で働く人材を増やし、業界の発展を促進する」というミッションのもと設立された「一般社団法人 Web3 人材マネジメント協会」に加入しました。Web3各社との連携を深めるとともに、業界の発展に貢献したいと考えております。

一般社団法人

Web3人材マネジメント協会

設立のお知らせ

Web3エコシステムの成長を支える次世代の人材育成を目指して
お問い合わせ info@web3-management.jpまでご連絡ください。



「THXNET.」を展開する THXLAB との業務提携契約を締結

THXLAB は、Web3 マスアダプション時代にマッチした全く新しいブロックチェーンネットワークサービスである Web3aaS 「THXNET.」を開発・運営しており、業務提携により金融サービス事業の成長ドライバーとして掲げる「CAICA Web3 for Biz」の伸長に努めていきたいと考えております。



NFT漫画プロジェクト進行中！

予てより企画してまいりましたNFT漫画プロジェクトの第1,2弾をリリースしました。今後も漫画家の誘致を継続し、続々と新弾をリリースする予定であります。



「GLS」を展開するアーリーワークスとの業務提携契約を締結

当社は業界最高水準の処理速度を誇るブロックチェーン技術基盤「GLS (Glid Ledger System)」の開発を手掛けたアーリーワークス社と業務提携契約を締結しました。これにより金融サービス事業の成長ドライバーとして掲げる「CAICA Web3 for Biz」の伸長に努めていきたいと考えております。



CAICA

×



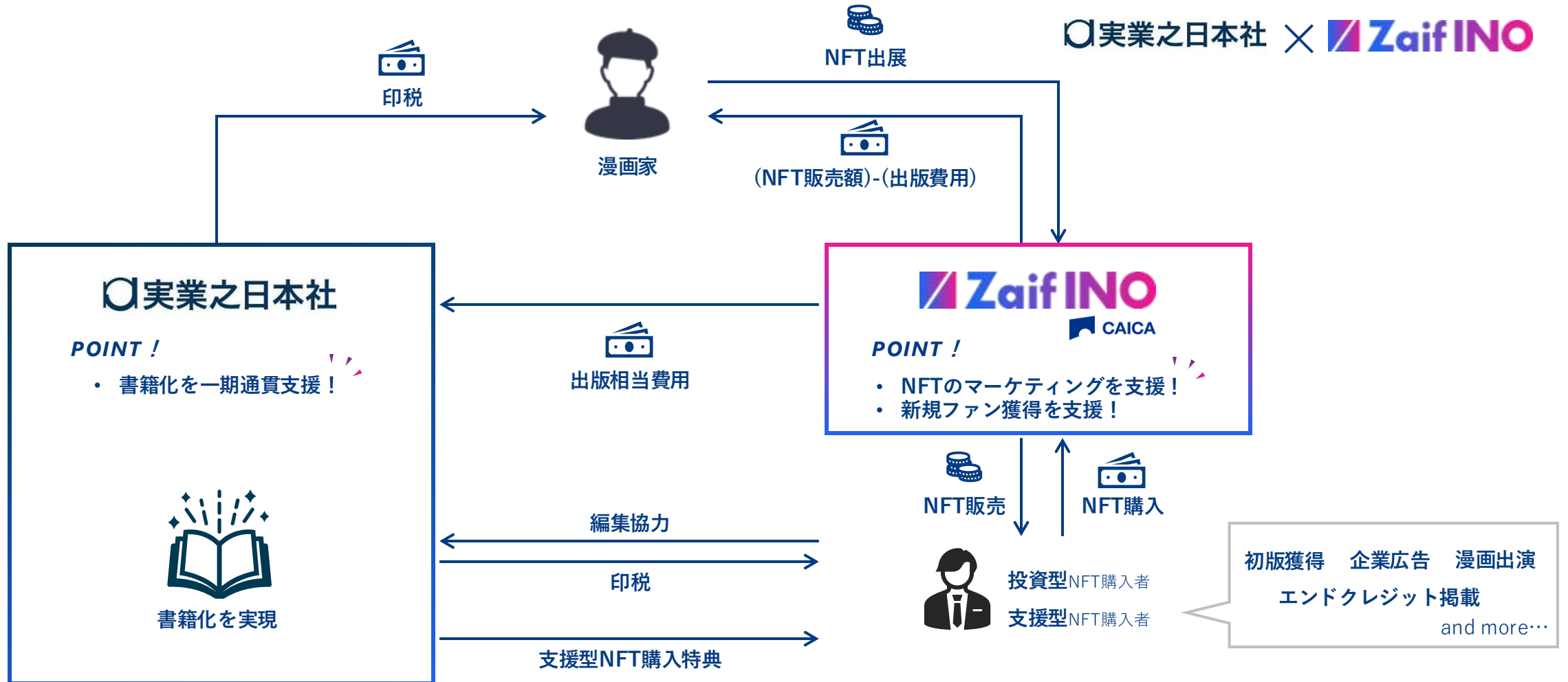
EARLY WORKS





NFTカードを活用した「NFT漫画プロジェクト」始動！

Zaif INOと実業之日本社が協業し、NFTを通じて漫画家さんの出版活動を応援する「NFT漫画プロジェクト」を開始しました。支援型漫画NFTと投資型漫画NFTの2種類のNFTを販売し、NFT出版、電子出版、紙書籍出版の3つのスタイルで出版を目指します。Zaif INOから、暗号資産不要・ウォレット不要でNFTが所有できる「NFTカード」形式で販売します。



DX対応の加速：HCL Technologies社と基本再販業者プログラム契約を締結

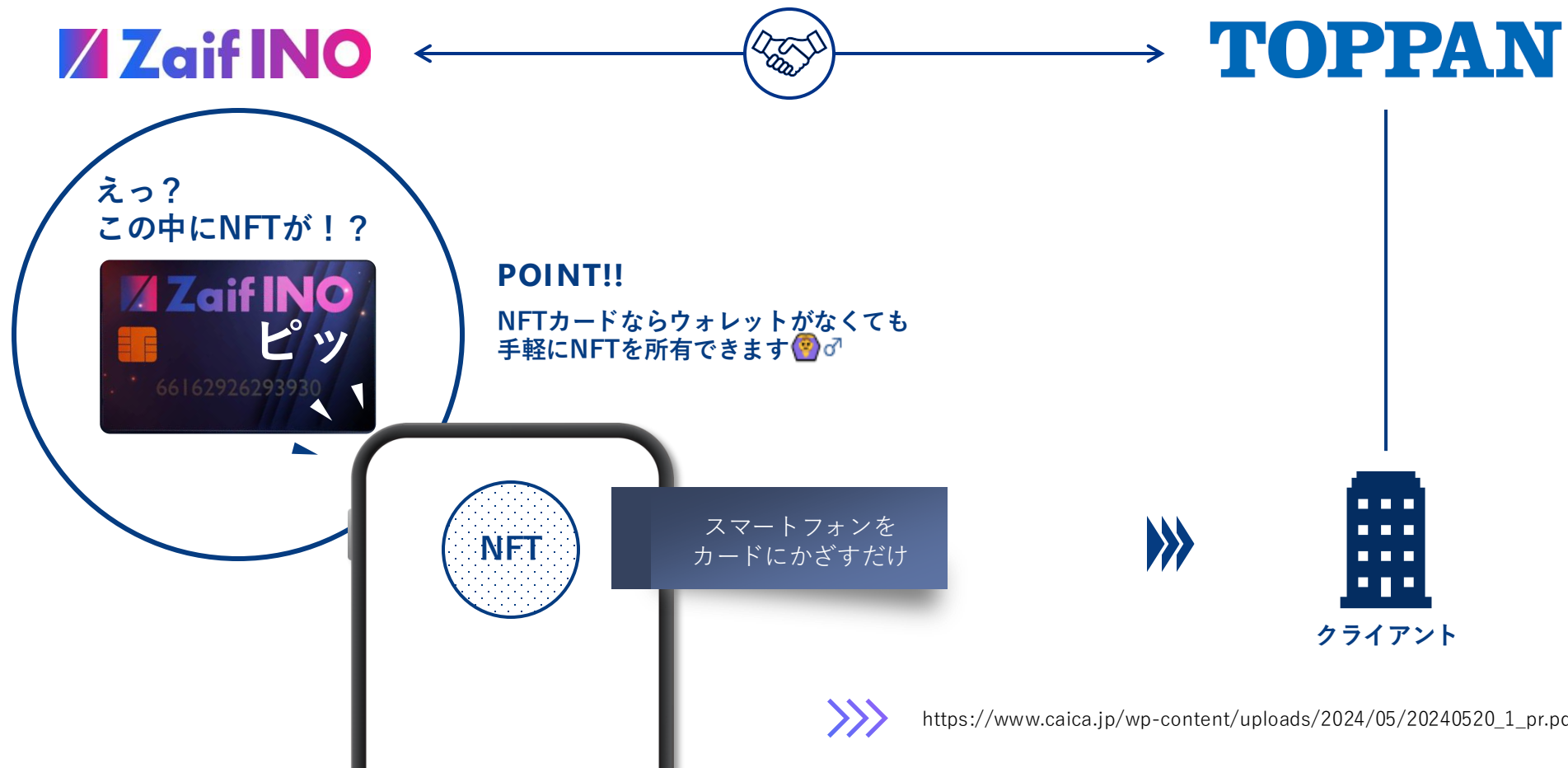
当社は予めよりHCL Technologies社とパートナー契約を締結しておりましたが、2024年8月、同契約が基本再販業者プログラムへと昇格しました。これによりディストリビューターを経由せずにHCL Technologies社のDXソリューション製品を販売可能となりました。コンサルティングから製品導入、保守運用まで、DXニーズへの対応を加速する体制が整い、事業拡大を進めてまいります。



SESからSIへの転換を図り利益率の大幅な向上を狙う

Web3領域におけるNFT活用連携、サービス/プロダクト共同開発推進の進捗状況

プレスリリース「CAICA DIGITALとTOPPAN、Web3 領域におけるNFT活用で連携」の通り当社グループの運営するZaif INOはTOPPANと代理店契約を締結しております。その後、TOPPANのクライアントに対してNFCタグ機能を活用したNFT配布サービスを提供致しました。NFC タグ機能の活用により、Web3ウォレットを所有していないユーザーに対してNFT付与が可能となります。



カイカコイン外国語版ウェブサイト開設

カイカコインの評価を備忘価格といたしましたでしたが、当社は引き続きカイカコインを重要な営業資産として位置付け、今後もユーティリティの拡大や投資家の獲得に努めてまいります。直近では英語、韓国語のウェブサイトを開設いたしました。今後もカイカコインの価値向上を目的として、様々な施策に取り組んでまいります。

한국어KR



<https://cicc.caica.jp/cicc/kr/>

ENGLISHHus



<https://www.caica.jp/cicc/en/>

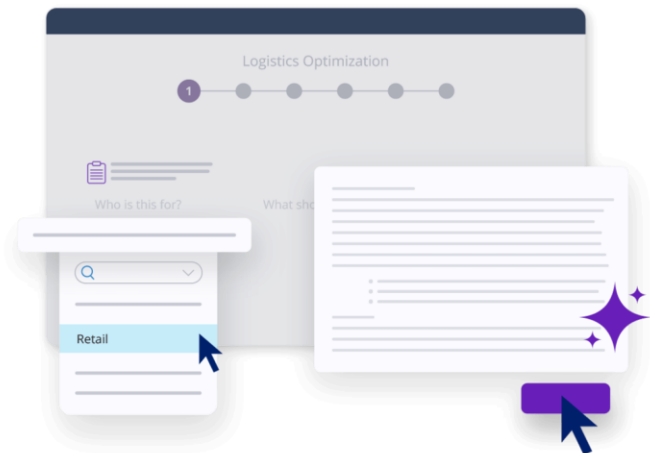


https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/05/20240523_1_pr.pdf

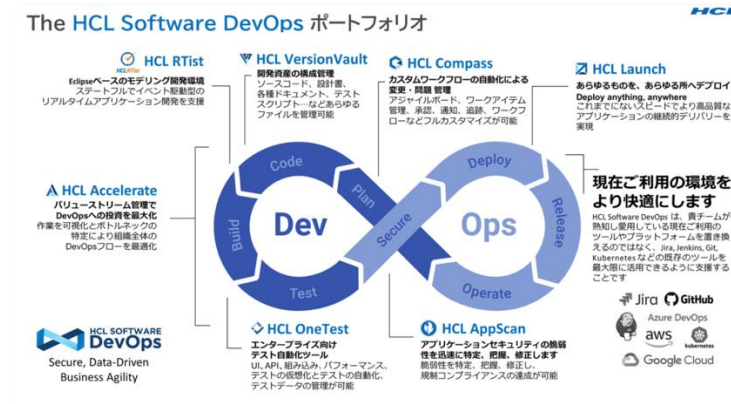
https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/05/20240513_1_pr.pdf

HCL Softwareのパートナーに認定、Pegasystemsとパートナーシップ契約締結

ITサービス事業においてクライアントのDX加速を目的として、HCLSoftware社のパートナーに認定されました。またPegasystemsとパートナーシップ契約を締結しました。これにより当社グループは、コンサルティングからソリューション導入、運用保守までをワンストップで提供することが可能となりました。



<https://www.pega.com/ja>



<https://www.hcljapan.co.jp/software/>



https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/04/20240423_1_pr.pdf

https://www.caica.jp/wp-content/uploads/2024/01/20240104_1_oshirase.pdf

株式会社フィスコの株式取得について

当社グループは株式会社フィスコ(3807)の株式を追加取得致しました。これにより同社のパイプラインを活かした当社の営業活動の拡大を狙います。また同社の企業価値が向上した際には株式売却によるキャピタルゲインの獲得を狙います。

取得の状況

取得前	保有株数	保有割合	
	994,500(株)	2.17(%)	
↓			
取得概要	取得株数	取得価格	取得総額
	5,000,000(株)	118(円)	590(百万円)
↓			
取得後	保有株数	保有割合	
	5,994,500(株)	13.09(%)	

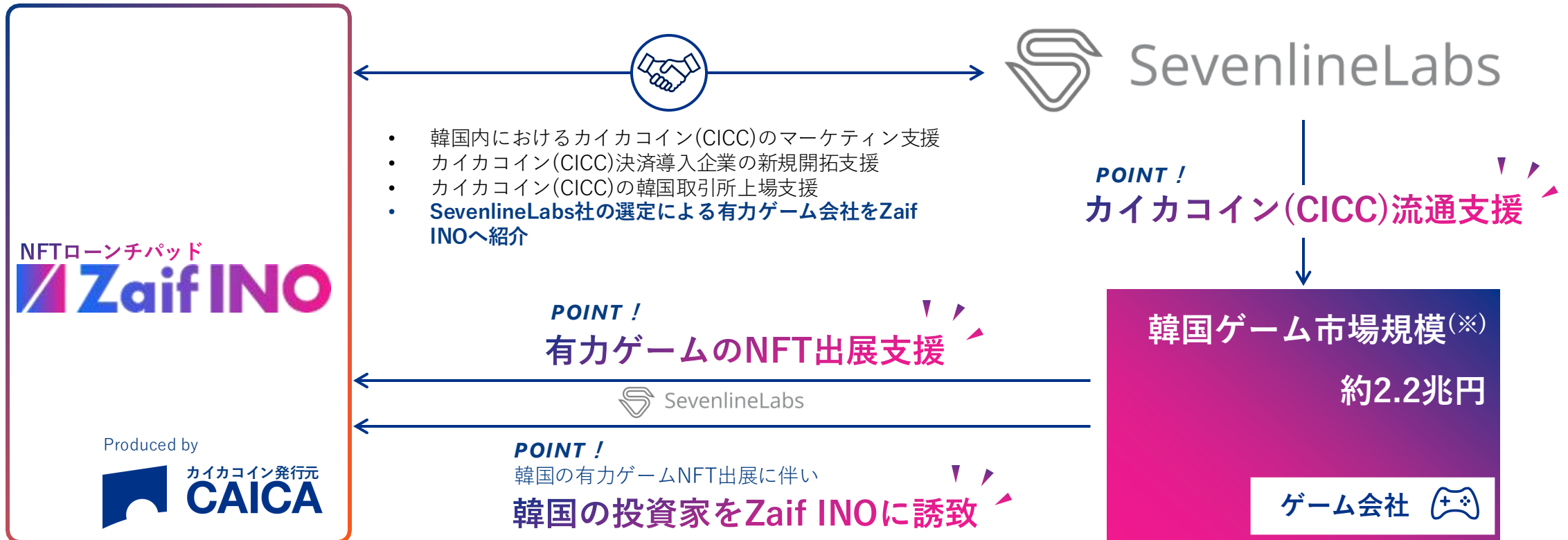
FISCOの経営成績

決算期	21年12月期 (連結)	22年12月期 (連結)	23年12月期 (単体)
純資産	3,624	2,063	289
総資産	5,383	3,826	2,093
売上高	1,156	1,071	450
営業利益	130	46	▲622
経常利益	239	73	▲537
当期純利益	3,801	▲2,750	▲1,591



SevenlineLabsとの事業提携により韓国市場を開拓

韓国ソウルのSevenlineLabsとの事業提携により韓国暗号資産市場の開拓を開始いたしました。これにより当社の発行するカイカコインのユーティリティ向上を図るほか、ZaifINOの発展を目指します。



- カイカコイン(CICC)によるNFT購入連携！
- カイカコイン(CICC)決済による特典付与連携！

※ 参照 <https://x.gd/rYoTY>



カイクォインで購入可能なNFT第一弾「Zaif INOデジタルプレミアムチケット」販売

カイクォイン山分け企画の参加権、今後販売を予定しているオリジナルNFTプレセールAL確定枠権、オリジナルNFT先行情報取得権、ホルダー限定コミュニティ参加権等、様々な権利を内包するZaif INOオリジナルNFT、Zaif INOデジタルプレミアムチケットの販売を決定しました。



The graphic features a dark blue background with a glowing purple and blue 'Zaif INO' logo and a stylized credit card with the number '66162926293930'. The text is in white and purple, with crown icons for the benefits.

デジタルプレミアムチケット 第三弾!!

- 👑 コイン山分け企画参加権
- 👑 オリジナルNFT AL確定枠
- 👑 NFT山分け企画参加権

発行枚数	200枚
販売価格	100 MATIC 2,000 CICC

※内容は予告なく変わる可能性があります。



Zaif INOのカイカコイン決済機能実装完了

「Zaif INO」においてカイカコインによる決済機能を実装し、カイカコインでNFTを購入することができるようになりました。またカイカコインを用いて購入した場合、ディスカウントなどの様々な特典が適応されます。



①作品出展

Zaif

© CAICA COIN 購入



© CAICA COIN 決済

③NFT

Zaif INO



②作品の販売



Zaif INO取扱NFT拡充

Zaif INOにて、『DUO NFT』コラボコレクション「DUO Collab Collection BITCONUSI ver.」及び、賞金付きバトロワレースゲーム Climbers（クライマーズ）のランドNFT第二弾のNFTの販売を開始しました。引続きGameFi関連をはじめとした各種NFTの取扱いを拡充し、Zaif INOの取扱高向上を図ることで、Web3業界のパイオニアとして拡大してまいります。

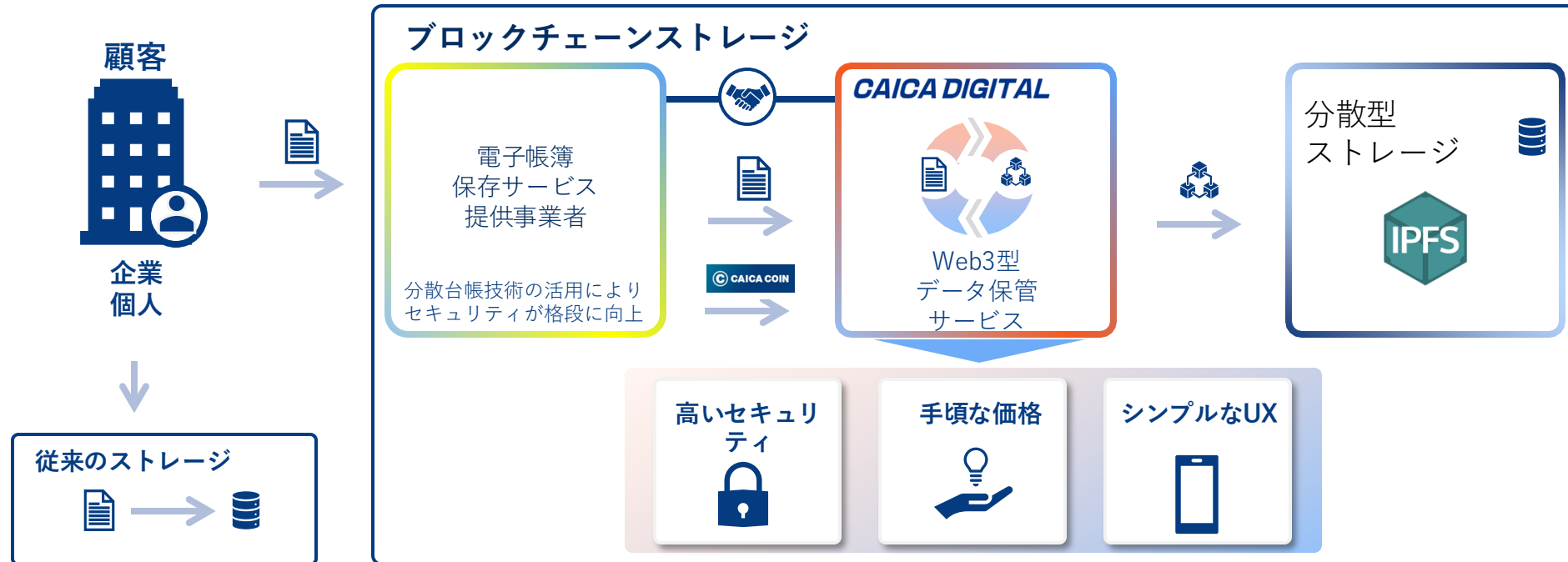


https://www.caica.jp/wpcontent/uploads/2023/11/20231106_1_oshirase.pdf

https://www.caica.jp/wpcontent/uploads/2023/11/20231128_1_oshirase.pdf

カイカコインを活用したWeb3型のデータ保管サービスを提供開始

B to B決済に当社の発行するカイカコインが利用される事例として、カイカコイン、及びブロックチェーンの分散型ストレージ技術を活用し、改ざん不可能かつ永続的な運用が可能な電子帳簿保存サービスを開始しました。



カイカコインに関するお知らせ

カイカコインは多様な施策によりユースケースを拡大し、実需を増加させることで資産価値の向上を図ります。定期的にホワイトペーパー及び、ライトペーパーを開示することで資産の信用を向上させます。



ライトペーパー最新版公開



「CAICA Security Training/標的型メール訓練サービス」の販売を強化

サイバー攻撃の手口が多様化する中で標的メールの開封を未然に防ぐための従業員リテラシー向上プログラムの引き合いを多数いただきました。特設ページ開設や営業強化、販売パートナーの開拓などにより、今後更なる事業拡大を図ってまいります。



01 訓練メール送信

03 開封状況分析

04 教育コンテンツ作成

06 報告書作成



クライアント

02 訓練メール受信

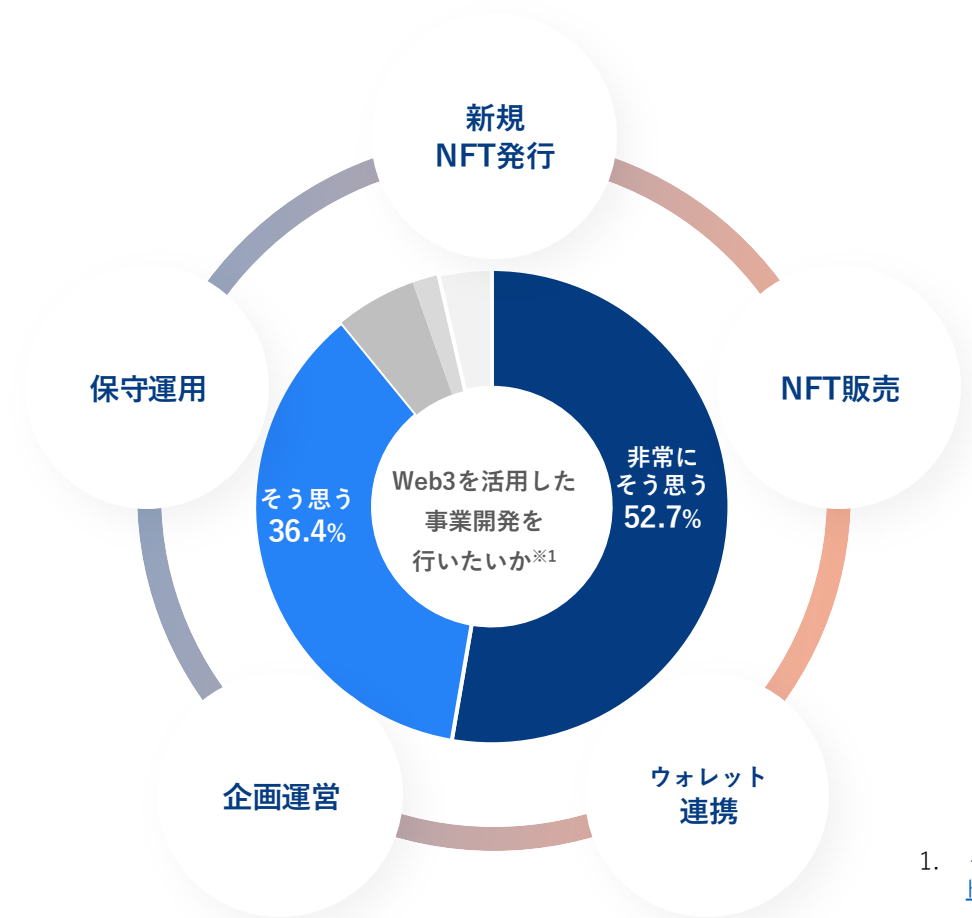
05 社員教育実施

07 改善活動実施



Web3参入を支援する セミオーダー型NFTマーケットプレイス開発サービスを販売開始

ブロックチェーンゲーム専門のNFTローンチパッド「Zaif INO」、暗号資産交換所「Zaif」の運営ノウハウを活かし、セミオーダー型NFTマーケットプレイス開発サービス提供を開始しました。関心の高いWeb3領域におけるコンサルティング事業の拡大を図ります。



1. クラウドエース株式会社「Web3.0に関する意識調査」を参照
<https://www.softbanktech.co.jp/corp/hr/recruit/articles/10/>



01	概要	03
02	2024年10月期 通期決算	09
03	2024年10月期 第4四半期決算	21
04	2025年10月期 通期業績見通し	30
05	中期経営計画の進捗状況	34
06	トピックス	43
07	Appendix	61

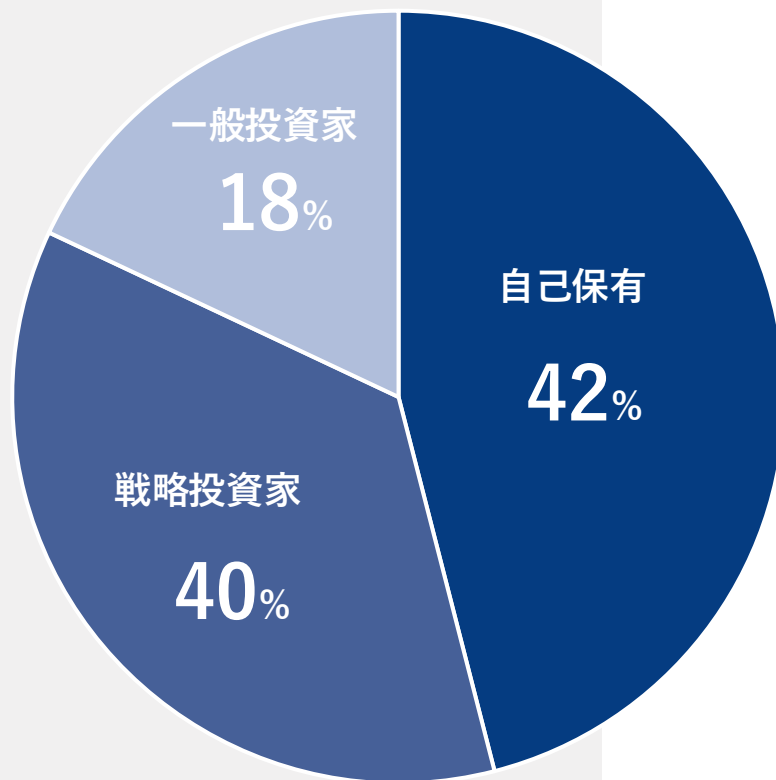


カイカコインとは

株式会社CAICA DIGITAL(証券コード：2315)が発行するイーサリアムネットワーク上で運用されるERC20規格に準拠した暗号資産です。2023年にはPolygon対応を完了し、マルチチェーン対応のコインへと進化しています。また2024年6月現在、国内暗号資産交換所Zaif及び、海外取引所FinexBoxに上場しています。

カイカコインは上場企業CAICA DIGITALが発行し、7年に及ぶ運用実績を持つアルトコインです。

CAICA DIGITALの責任のもと活用シーンの増加に資することでさらなるカイカコインの価値向上に努めてまいります。



2023年10月末日時点の保有状況を掲載

カイカコイン発行状況

発行可能枚数	300百万CICC
上場取引市場	Zaif(国内) FinexBox(海外)
時価総額 ^{※1}	615百万円
取引価格 ^{※1}	2.05JPY/CICC

1. 12月18日現在の時価、及び現時価を参考に算出

バリューアップの三つの視点

01

市場環境好転

BTC価格の上昇、金利のピークアウトなどカイカコインにとって好材料となる市場環境が整いつつあると考えます。

02

実績と信頼

数多に存在するアルトコインの中で、カイカコインは約7年間に渡り上場企業の当社が運用してきた実績を誇ります。

03

用途拡大に伴う需要の増加

カイカコインはGameFiで活用されるゲームコインを目指しております。ゲームコインとしての利便性が拡がり、需要が増すことで価格の上昇が見込めると考えます。

本資料について

- 本資料は、株式会社CAICA DIGITAL（以下、当社）の決算情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。実際の投資に際しては、ご自身の判断と責任において投資判断を行って頂きますようお願い致します。また、本資料の記述内容につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- 本資料には、当社および連結子会社の計画など将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、作成時点において入手可能な情報に基づいており、様々なリスクや不確実性が内在しています。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
- 本資料は一部(百万円)または(千円)以下を切捨てて掲載しております。一方、前期比等については切捨て前の数字を参照し計算しております。